

## 申込要領

受講料／申込期限をご確認の上、WEBサイトよりお申込みください。MAST21会員企業様よりお申込みの場合10%割引をいたします。

科目	講座名	コマ数	受講料(税込)	申込期限
基盤科目	状態図と組織(1)	7	77,000円	9月9日(水)
	状態図と組織(2)	8	77,000円	11月9日(月)
	材料強度学(1)	7	77,000円	9月9日(水)
	材料強度学(2)	8	77,000円	11月9日(月)
	電気化学	7	77,000円	9月9日(水)
	腐食防食学	7	77,000円	11月9日(月)
	磁性材料学(1)	6	77,000円	9月9日(水)
	磁性材料学(2)	9	77,000円	11月9日(月)
	材料力学(1)	7	77,000円	9月9日(水)
	材料力学(2)・破壊力学	8	77,000円	11月9日(月)
	材料熱力学(1)	7	77,000円	9月9日(水)
	材料熱力学(2)	8	77,000円	11月9日(月)
展開科目	電池材料のための固体化学(1)	7	77,000円	9月9日(水)
	電池材料のための固体化学(2)	8	77,000円	11月9日(月)
	粉体加工学とAdditive Manufacturing	7	77,000円	9月9日(水)
	溶接・接合工学	7	77,000円	9月9日(水)
	非破壊検査・計測	7	77,000円	9月9日(水)
	塑性加工学	7	77,000円	9月9日(水)
入門科目	構成材料学入門(1) 金属系	7	77,000円	9月9日(水)
	構成材料学入門(2) 特殊材料系	7	77,000円	11月9日(月)
	機能性材料学入門(1) 磁性・スピン	2	22,000円	8月10日(月)
	機能性材料学入門(2) 熱電素子・電池	2	22,000円	8月10日(月)
	機能性材料学入門(3) 半導体・触媒	2	22,000円	8月10日(月)
	材料計測・分析入門	5	55,000円	11月9日(月)

お申込み・最新情報は以下のWEBサイトをご覧ください

<https://www.material.tohoku.ac.jp/recurrent/>

お問合せ先  
東北大学大学院工学研究科 マテリアル・開発系 秘書室  
MAIL recurrent.material@grp.tohoku.ac.jp  
TEL 022-795-7364 (平日9:00~17:00)

MAST21のご案内  
MAST21は材料分野に特化した産学連携の窓口です。世界一の実績を誇る東北大学の「材料科学総合学科」が有する高度な学問・技術を集積し、会員企業からお問合せいただいた問題に対し積極的に情報提供や技術相談を行います。そのほか、フォーラムや新卒採用に向けた会社説明会などを実施しています。  
詳細・入会方法については以下のWEBサイトをご覧ください。  
<http://www.material.tohoku.ac.jp/mast21/>

東北大学大学院工学研究科マテリアル・開発系

# 材料科学リカレントセミナー

## 2026年度開講案内



選べる。学べる。証明できる。

<https://www.material.tohoku.ac.jp/recurrent/>



# 現場に直結する材料科学の知識を、 東北大学で。

## 材料科学の「わかった」を、東北大学で積み上げよう。

多忙な毎日で、目の前の業務に追われ「体系的な学び」を後回しにしているませんか？  
今、現場のエンジニアには、自力で技術理論をキャッチアップする力が求められています。  
そこで、東北大学大学院工学研究科マテリアル・開発系では、国内最大規模の材料系教育資源をエンジニアの皆様へ開放し実務に活かせる「材料科学リカレントセミナー」を開講いたします。  
キャリアを切り拓くエンジニアの自己研鑽として、次世代を担う技術者育成のスタンダードとして、東北大学の知見をご活用ください。

## エンジニアのための「学びやすさ」5つのスタンダード

- 1 選べる充実の15科目**  
多彩な分野から、業務に直結する科目を自由に組み合わせて受講いただけます。  
「必要なところだけ」「深めたい分野から」ニーズに合わせて、自分だけのカリキュラムを作れます。
- 2 完全オンデマンド学習**  
いつでも・どこでもご自身のペースで学習できます。繰り返し視聴して理解を深めることも可能です。
- 3 学習期間は最大4ヶ月**  
最大4ヶ月、24時間いつでも学習コンテンツが利用可能です。  
繁忙期を避けながら無理なく進められる、社会人に合わせたスケジュール設計です。
- 4 受講しやすい単位・価格【2026年度NEW】**  
従来の15コマ科目を2～9コマ構成にリニューアル。価格も2万円～7万円とさらに選択しやすくなりました。
- 5 東北大学オープンバッジの導入【2026年度NEW】**  
東北大学工学研究科が公式発行するデジタル認定証（オープンバッジ）を取得できます。  
「受けた」で終わらせない、現場で使えるスキルの証明に変えられます。

## 東北大学オープンバッジについて

2026年度より、東北大学大学院工学研究科が認定する「専門オープンバッジ」が取得可能になりました。  
本セミナーで発行するバッジは、学部教育相当の体系的な学習を修了したことを証明するものです。  
国際標準規格のデジタル証明として、履歴書やメール署名等あらゆるビジネスシーンでご活用いただけます。



バッジ名：材料科学リカレントプログラム  
種類：専門オープンバッジ（薄青）  
対象：基盤1～7の全7科目 ※右表の★印が対象科目です  
認定要件：以下A、Bのいずれかを満たし、評価（テストまたはレポート）に合格すること  
[A] 2科目以上かつ合計30コマ以上の受講  
[B] 3科目以上の受講（コマ数問わず）

- 複数年度の合算OK：忙しい方でも数年かけて取得を目指せます。
- 過去受講者も対象：再評価（テスト等）により遡及発行が可能です。

## 開講科目一覧

### 基盤科目

- 状態図と組織
- 材料強度学
- 電気化学
- 腐食防食学
- 磁性材料学
- 材料力学・破壊力学
- 材料熱力学

### 展開科目

- 電池材料のための固体化学
- 粉体加工学とAdditive Manufacturing
- 溶接・接合工学
- 非破壊検査・計測
- 塑性加工学

### 入門科目

- 構成材料学入門
- 機能性材料学入門
- 材料計測・分析入門

## 講師紹介

東北大学大学院工学研究科



成島 尚之



吉見 享祐



須藤 祐司

その他、東北大学を軸とした、各分野のエキスパートが講義を担当します

【東北大学】  
大森 俊洋、武藤 泉、手束 展規、成田 史生、高村 仁、野村 直之、佐藤 裕、及川 勝成、山本 雅哉、宮崎 譲、高橋 幸生、小山 裕、和田山 智正・新田 淳作・我妻 和明（名誉教授）

【他大学】  
寺崎 秀紀・山崎 倫昭（熊本大学）、山本 元道（広島大学）  
三原 毅・森本 展行（島根大学）

## 配信スケジュール

★オープンバッジ対象

科目	講座名	コマ数	配信期間					配信終了日
			6月	7月	8月	9月	10月	
★ 基盤科目	1 状態図と組織(1)	7	●●●●●●					9月30日
	2 状態図と組織(2)	8			●●●●●●●			11月30日
	★ 3 材料強度学(1)	7	●●●●●●					9月30日
	4 材料強度学(2)	8			●●●●●●●			11月30日
	★ 5 電気化学	7	●●●●●●					9月30日
	★ 6 腐食防食学	7			●●●●●●			11月30日
	★ 7 磁性材料学(1)	6	●●●●●●					9月30日
★ 展開科目	1 材料力学(1)	9			●●●●●●●			11月30日
	2 材料力学(2)・破壊力学	7	●●●●●●					9月30日
	★ 3 材料熱力学(1)	8			●●●●●●●			11月30日
	4 電池材料のための固体化学(1)	7	●●●●●●					9月30日
	5 電池材料のための固体化学(2)	8			●●●●●●●			11月30日
	6 粉体加工学とAdditive Manufacturing	7	●●●●●●					9月30日
	7 溶接・接合工学	7	●●●●●●					9月30日
★ 入門科目	1 非破壊検査・計測	7	●●●●●●					9月30日
	2 塑性加工学	7	●●●●●●					9月30日
	3 構成材料学入門(1) 金属系	7	●●●●●●					9月30日
	4 構成材料学入門(2) 特殊材料系	7			●●●●●●●			11月30日
	5 機能性材料学入門(1) 磁性・スピン	2	●●●●●●					8月31日
	6 機能性材料学入門(2) 熱電素子・電池	2	●●●●●●					8月31日
★ 入門科目	7 機能性材料学入門(3) 半導体・触媒	2	●●●●●●					8月31日
	8 材料計測・分析入門	5			●●●●●			11月30日